

# KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

## CLX-80

### 取扱説明書/保証書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。  
ご使用前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、この取扱説明書と「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。  
取扱説明書と「安全上のご注意」は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド  
JVCKENWOOD Corporation

● もくじは2ページにあります。

Made for



iPod



iPhone

 Bluetooth®

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

CD-R/RW  
PLAYBACK

MP3  
WMA

SD  
HC

# もくじ

## お使いになる前に

付属品を確認する	3
設置するときは	3
リモコンを準備する	4
絶縁シートを取り外す	4
操作のしかた	4
電池を交換するときは	4
<b>各部のなまえと働き</b>	<b>5</b>
本体	5
リモコン	6
ディスプレイ部	8
本書の記載について	8
<b>アンテナ、ACアダプターの接続</b>	<b>9</b>
FM室内アンテナの接続	9
AMループアンテナの接続	10
ACアダプターの接続	11

## 音楽を聞く

<b>基本的な使いかた</b>	<b>12</b>
ふだんの使いかた	12
時計を合わせる	12
一時的に消音する	13
ヘッドホンで聞く	13
音質を調整する	13
表示画面を調整する	14
自動で電源が切れるように設定する (A.P.S. オートパワーセーブ)	15
<b>iPod/iPhoneを聞く</b>	<b>16</b>
再生中の操作	17
順不同で聞く/くり返し聞く	18
メニュー画面で操作する	18
<b>CDを聞く</b>	<b>18</b>
再生中の操作	20
順不同で聞く/くり返し聞く	20
好きな曲順で聞く(プログラム)	21
CDの取り扱い	22
本機で使用するディスクについて	22

<b>SDカードを聞く</b>	<b>23</b>
再生中の操作	24
順不同で聞く/くり返し聞く	24
好きな曲順で聞く(プログラム)	25
本機で使用するカードについて	26
<b>USB機器を聞く</b>	<b>26</b>
再生中の操作	28
順不同で聞く/くり返し聞く	28
好きな曲順で聞く(プログラム)	29
本機で使用するUSB機器について	30
<b>ラジオを聞く</b>	<b>31</b>
よく聞く放送局を登録する(プリセット)	31
ラジオの受信状態が悪いときは	33
<b>BLUETOOTH(ブルートゥース)機器を聞く</b>	<b>34</b>
再生中の操作	35
接続を解除する	35
BLUETOOTH機器について	35
<b>外部機器を聞く</b>	<b>37</b>
音声入力レベルを調節する	37

## 便利な機能

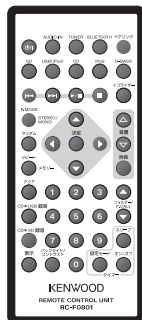
<b>CDの曲をSDカード/USB機器に録音する</b>	<b>38</b>
録音可能時間の目安	38
録音ファイルの保存場所	39
録音に関する注意	40
<b>タイマーを使う</b>	<b>41</b>
お休み前に聞く(SLEEP)	41
決まった時間に聞く(TIMER)	41

## 情報

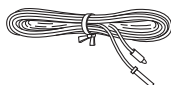
<b>再生できるオーディオファイル</b>	<b>43</b>
ファイルの再生順について	44
<b>故障かな?と思ったら</b>	<b>45</b>
本機をリセットする	47
<b>用語集</b>	<b>48</b>
<b>メッセージ表示一覧</b>	<b>48</b>
<b>定格</b>	<b>49</b>
<b>保証とアフターサービス</b>	<b>50</b>
<b>無料修理規定</b>	<b>51</b>

# 付属品を確認する

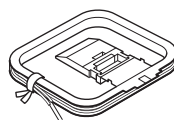
リモコン  
(RC-F0801 : 1個)



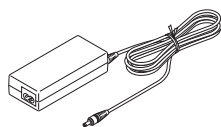
FM室内アンテナ  
(1個)



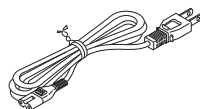
AMループアンテナ  
(1個)



ACアダプター  
(AA-R1809 : 1個)



電源コード  
(1本)



お使いになる前に

## 設置するときには

### 本機を設置するときのご注意

- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

### ご注意

- 機器の上面から50cm以上、背面と側面は15cm以上のスペースを空ける
- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない

### 免責事項について

デジタルオーディオプレーヤー /SDカード/USB機器/iPod/iPhoneの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

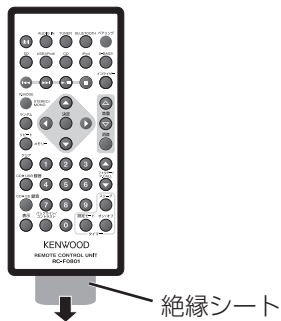
### レーザー製品についてのご注意

- この製品は、JIS C6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。
- 注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

# リモコンを準備する

## 絶縁シートを取り外す

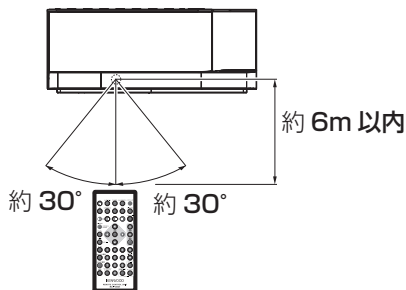
絶縁シートを矢印の方向に引き抜いてください。



お使いになる前に

## 操作のしかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

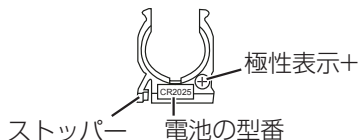


- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

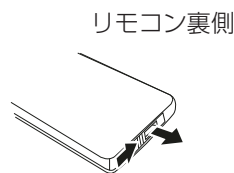
## 電池を交換するときは

電池を交換するときは、必ず指定の型番の電池をお使いください。

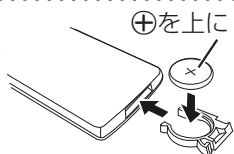
使用電池：3Vリチウムボタン電池CR2025  
電池ホルダー



- 1 ストッパーを横に押しながら、電池ホルダーを引き出します。



- 2 電池ホルダーにリチウムボタン電池を入れて、ホルダーを元に戻します。

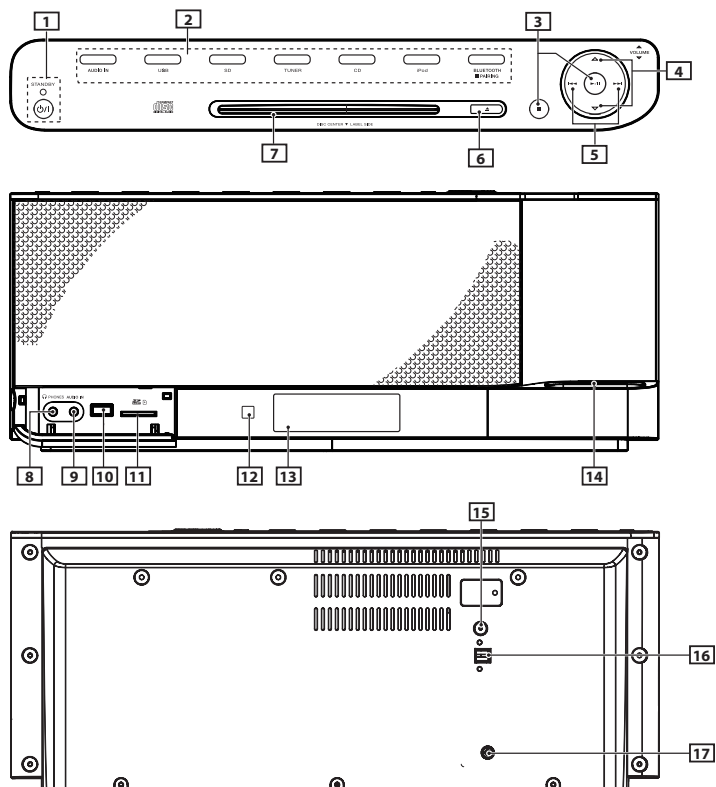


### ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意」（別紙）をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつかけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

# 各部のなまえと働き

## 本体



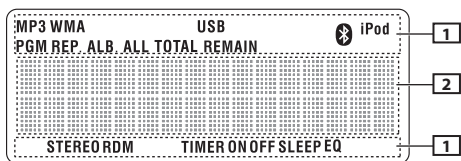
- 1 電源 (⇒ 12 ページ)  
STANDBY インジケーター  
赤色：スタンバイ状態  
橙色：タイマー待機状態
- 2 音源切り替え (⇒ 12 ページ)  
AUDIO IN/USB/SD/TUNER/CD/  
iPod/BLUETOOTH  
TUNER のときは、押すたびに FM と  
AM が切り替わります。
- 3 再生/一時停止 (⇒ 12 ページ)  
曲の再生/一時停止をします。  
STOP ■  
曲の再生を停止します。
- 4 VOLUME ▲/▼ (⇒ 12 ページ)
- 5 曲送り/曲戻し (⇒ 12 ページ)  
曲をスキップします。  
押し続けると曲を早送り、早戻ししま  
す。  
ラジオを聞いているときは、放送局を  
選びます。
- 6 CD 取り出し (⇒ 19 ページ)  
CD を取り出します。
- 7 CD スロット (⇒ 18 ページ)  
CD のレーベル面を手前にして差し込  
みます。



- 6 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ (マルチコントロール)**  
各種設定を選びます。  
**決定**  
項目を決定します。
- 7 ランダム**  
曲を順不同に再生します。
- 8 リピート**  
曲をくり返し再生します。  
**メモリー**  
放送局を自動または手動でメモリーします。
- 9 数字 (0 - 9)**  
曲や放送局を選びます。
- 10 クリア**  
プログラムした曲やプリセットした局の設定を削除します。
- 11 CD ▶ USB 録音 (⇒ 38 ページ)**  
CD を USB 機器にワンタッチエディット録音します。  
**CD ▶ SD 録音 (⇒ 38 ページ)**  
CD を SD にワンタッチエディット録音します。
- 12 表示**  
ディスプレイの表示内容を切り替えます。
- 13 バックライト / コントラスト (⇒ 14 ページ)**  
ディスプレイの照明、イルミネーションを切り替えます。ディスプレイの表示濃度を調節します。
- 14 タイマー 設定モード (⇒ 12、41 ページ)**  
時計やプログラムタイマーや A.P.S. (オートパワーセーブ) を設定します。
- 15 タイマー オン / オフ (⇒ 42 ページ)**  
設定したプログラムタイマーを入 / 切します。
- 16 スリープ (⇒ 41 ページ)**  
スリープタイマーを設定します。
- 17 フォルダー / P.CALL ▲ / ▼**  
フォルダを選択します。  
TUNER のときは、プリセットを切り替えます。
- 18 消音 (⇒ 13 ページ)**  
音量を一時的に消音 (ミュート) します。
- 19 音量 ▲ / ▼ (⇒ 12 ページ)**
- 20 イコライザー (⇒ 13 ページ)**  
ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。
- 21 D-BASS (⇒ 13 ページ)**  
低音域の音量を強調します。
- 22 ペアリング (⇒ 34 ページ)**  
BLUETOOTH 機器を接続します。

# 各部のなまえと働き

## ディスプレイ部



- 1 再生しているオーディオファイルの種類や接続機器の表示、音質調整などが設定されると点灯します。

MP3 : MP3 ファイル  
WMA : WMA ファイル  
USB : USB 機器接続  
iPod : iPod/iPhone 接続  
PGM : プログラムモード  
REP : リピートモード  
ALB : アルバム選択モード  
ALL : 全曲リピートモード  
TOTAL : トータル時間  
REMAIN : 残り時間  
STEREO : ステレオモード  
RDM : ランダムモード  
TIMER : プログラムタイマー  
ON : タイマー開始時間  
OFF : タイマー終了時間  
SLEEP : スリープタイマー  
EQ : イコライザー、D-BASS (低音強調)  
BT アイコン : BLUETOOTH 機器接続

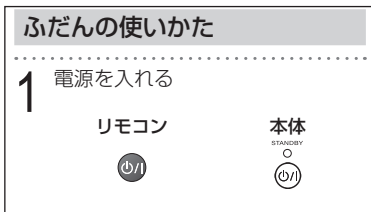
- 2 数字および文字情報を表示します。

● 本文中のディスプレイ表示は実際の表示と異なることがあります。

## 本書の記載について

本機はほとんどの操作をリモコンで行います。本体で操作できる操作については本体ボタンも併記しています。(リモコンに該当のボタンがないときには、「-」と記載しています。)

(例1)

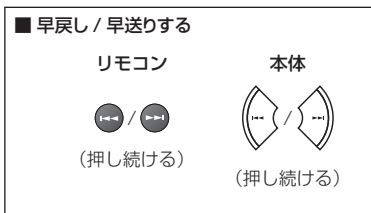


図は「ボタンをポンと押して、すぐに離す」操作を表しています。

本機のほとんどの操作はこの操作(短押し)です。この操作をくり返すときには、ボタンの下に「(くり返し押し)」と記載しています。



(例2)



図は「一定時間ボタンを押したままにいる」操作を表しています。

早送りなど、一部でこの操作(押し続ける)、または(長押し)を使います。





# アンテナ、ACアダプターの接続

ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。

アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

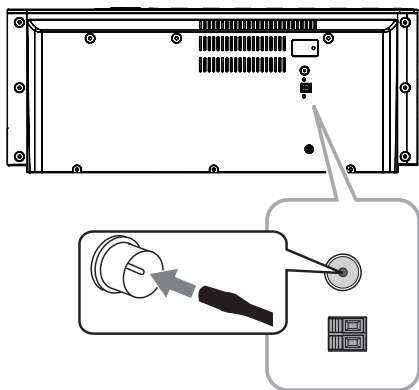
## ご注意

- 接続が終了してから電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## FM室内アンテナの接続

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、簡易アンテナは取り外してください。

- 1 FMアンテナ端子（75Ω）に接続する  
端子の中心部へしっかりと差し込んでください。

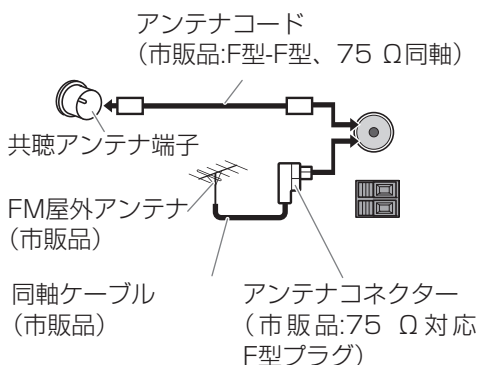


- 2 最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばす

- 3 ピンなどを使って固定する  
アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。

# アンテナ、ACアダプターの接続

## ■ マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM屋外アンテナを使うとき



お使いになる前に

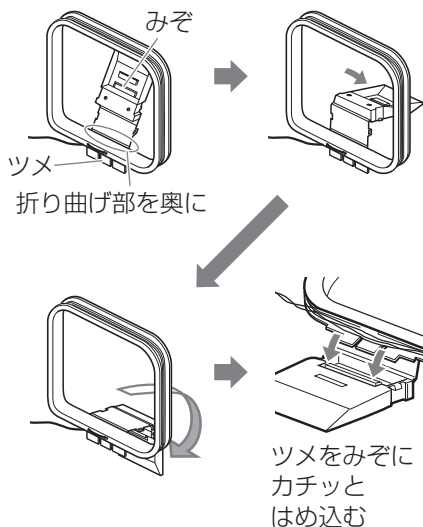
### ご注意

- ・付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- ・アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ・ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続しているときは、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

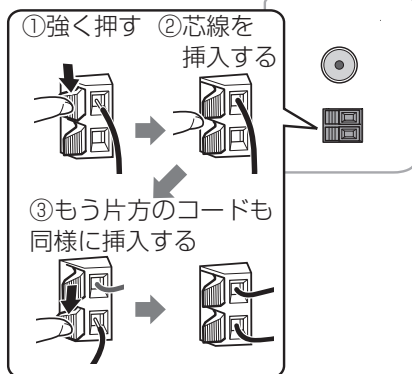
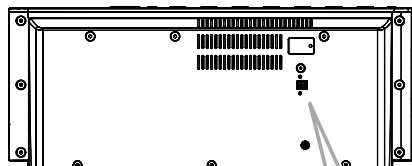
## AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、テレビ、ACアダプター、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

### 1 アンテナを組み立てる

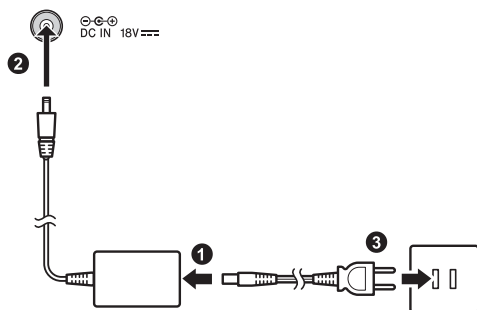


### 2 アンテナコードをAMとGND端子に取り付ける (次ページのイラスト参照)



## ACアダプターの接続

付属のAC電源コードをACアダプターに接続してください。付属のACアダプターを本機のDC IN端子に接続してから、コンセントに差し込んでください。

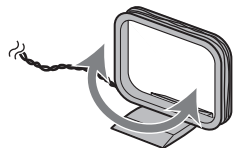


### ■メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は、保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- 音源切り替え
- 音量の設定
- 音質設定
- タイマーの設定内容
- チューナー設定

## 3 アンテナの向きを調整する



接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

### ご注意

- AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

# 基本的な使いかた

## ふだんの使いかた

### 1 電源を入れる

リモコン



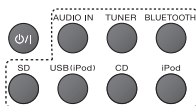
本体  
STANDBY



電源が入っているときにボタンを押すと、電源が切れます（待機状態）。

### 2 いずれかの音源ボタンを押して音源を切り替え、再生する

リモコン



本体



(AUDIO IN/USB/  
SD/TUNER/CD/  
iPod/BLUETOOTH)

再生する音源を用意しておきます。  
(例：CDを入れる)

### 3 音量を調節する MIN (0) ~ 40の間で調節できます。

リモコン



音量

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

- STANDBYインジケータ点灯中は、リモコンの信号を受信するために微弱な電流が流れています（待機状態）。この状態のときは、リモコンで本機の電源を入れることができます。
- スタンバイ状態で各音源ボタンを押すと、本機の電源が入ります。

## 時計を合わせる

プログラムタイマーなどを利用するために、本機の時計を設定します。

### 1 タイマー設定モードにする

リモコン  
設定モード



### 2 「CLOCK」を選ぶ

リモコン



決定



### 3 時刻を設定する 時、分の順に設定します。

リモコン



決定



設定すると **[COMPLETE]** と表示され、自動的にタイマー設定モードを終了します。

- 時刻を設定するとき、 / ボタンで時/分を選ぶことができます。
- 電源プラグを差し直したり停電があったときは、再度時計を設定してください。
- 時計の精度には若干の誤差（月差±1分程度）がありますので、定期的には時計を合わせることをお勧めします。

## 一時的に消音する

リモコン

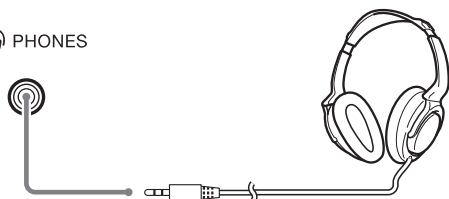


もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ヘッドホンで聞く

φ3.5mm ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を本体前面部の PHONES端子に接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は出ません。

PHONES



## 音質を調整する

### ■ 低音を強調する (D-BASS)

#### 1 D-BASSを選ぶ

リモコン

D-BASS



#### 2 好みのレベルに調節する

リモコン



決定



D-BASS 1～10：低音域を強調

D-BASS OFF：D-BASS解除

D-BASSを設定すると **「EQ」** が点灯します。

### ■ 音質を変更する (イコライザー)

ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。

リモコン

イコライザー



押すたびに音質が切り替わります。

POP ⇨ CLASSIC ⇨ ROCK ⇨ JAZZ ⇨  
GAME ⇨ FLAT (原音) ⇨ (POPに戻る)

イコライザーを設定すると **「EQ」** が点灯します。

💡 • イコライザーを設定するとD-BASSは解除されます。

• D-BASSを設定するとイコライザーは解除されます。

# 基本的な使いかた

## 表示画面を調整する

### ■ 明るさを設定する (BACKLIGHT)

表示部の明るさを調節したり、本体のイルミネーションの点灯のしかたを設定します。

#### 1 ディスプレイ設定モードにする



#### 2 「BACKLIGHT」を選ぶ



#### 3 好みの明るさに調節する



#### BACKLIGHT: 1 :

表示部照明点灯、イルミネーション点灯

#### BACKLIGHT: 2 :

表示部照明点灯、イルミネーション消灯

#### BACKLIGHT: 3 :

表示部照明消灯、イルミネーション点灯

#### BACKLIGHT: 4 :

表示部照明消灯、イルミネーション消灯

設定すると「COMPLETE」と表示され、設定を終了します。

### ■ 表示濃度を調整する (CONTRAST)

表示部の表示濃度を調整します。

#### 1 ディスプレイ設定モードにする



#### 2 「CONTRAST」を選ぶ



#### 3 好みの表示濃度に調節する



5段階に調節できます。

設定すると「COMPLETE」と表示され、設定を終了します。

## 自動で電源が切れるように設定する (A.P.S. オートパワーセーブ)

A.P.S.はAUTO POWER SAVE (オートパワーセーブ)の略で、15分以上何も操作しなかった場合に節電のため自動的に電源が切れる機能です。

出荷時には「入」に設定されています。

### ■ 節電機能が「入」のときは ...

以下の状態が約15分続くと、自動的に電源が切れます。電源が切れる約1分前からディスプレイに「**A.P.S.**」が点滅表示されます。

- 音源にTUNER、iPod、AUDIO IN、BLUETOOTHが選択されていて、音量が0 (MIN)でボタンが操作されないとき
- 音源にCD、USB、SDが選択されていて、再生停止中でボタンが操作されないとき

### 1 タイマー設定モードにする



### 2 「A.P.S.」を選ぶ



### 3 節電機能を設定する



A.P.S. ON : 節電機能「入」

A.P.S. OFF : 節電機能「切」

設定すると **[COMPLETE]** と表示され、設定を終了します。

# iPod/iPhoneを聞く

以下のiPod/iPhoneを再生できます。

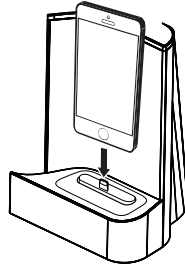
Made for (対応iPod)	バージョン*1
iPod nano (第7世代)	1.0.2
iPod nano (第6世代)*2	1.2
iPod nano (第5世代)*2	1.0.2
iPod nano (第4世代)*2	1.0.4
iPod nano (第3世代)*2	1.1.3
iPod nano (第2世代)*2	1.1.3
iPod touch (第5世代)	6.1.3
iPod touch (第4世代)*2	6.1.3
iPod touch (第3世代)*2	5.1.1
iPod touch (第2世代)*2	4.2.1
iPod touch*2	3.1.3
iPhone 5	6.1.4
iPhone 4S*2	6.1.3
iPhone 4*2	6.1.3
iPhone 3GS*2	6.1.3
iPhone 3G*2	4.2.1

\*1動作確認時のソフトウェアのバージョン

\*2コネクタが30pinタイプのiPod/iPhoneは、USBケーブルで接続してください。(26ページ)

- 接続している機器の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod/iPhoneのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをお勧めします。
- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行うときは、iPhoneやiPod touch側で操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPod/iPhoneの操作については、iPod/iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

## 1 電源を切った状態で、iPod/iPhoneを接続する



まっすぐ、ていねいに取り付けます。

- 可動範囲を超えて無理に動かさないでください。破損する恐れがあります。
- カバーやケースなどのアクセサリは取り外してください。
- 本機へ接続している間は、iPod/iPhoneのヘッドホンを抜き差ししないでください。音が出なくなるなど、誤動作の原因となります。
- iPod/iPhoneを取り外すときは、再生を停止し、本機の電源を切ってください。
- iPod/iPhoneを接続すると、iPod/iPhoneを充電できます。

## 2 電源を入れる

リモコン



本体

STANDBY



## 3 音源をiPodに切り替える

リモコン



USB(iPod)



本体



iPod



USB

- iPod/iPhone装着部に接続した場合
- USB端子に接続した場合



- 機器認識中は「READING」が表示されます。表示が消えるまでお待ちください。
- 機器を認識できないと「NO iPod」が表示されます。機器を確認し、電源を切ってから機器を接続し直してください。

## 4 再生する

リモコン



本体



- 本機へ接続している間は、iPod/iPhone側の音量設定は無効になります。音量は本機側で調節してください。
- 再生中はiPod/iPhoneを取り外さないでください。故障の原因となります。

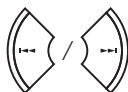
## 5 選曲する

### ■ 前後の曲を選ぶ

リモコン



本体



前の曲を選ぶときは、ボタンを素早く2回押します。

## 再生中の操作

### ■ 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと再生を再開します。

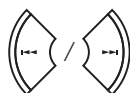
### ■ 早戻し / 早送りする

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

### ■ 曲の先頭に戻る (頭出し)

リモコン



本体



### ■ 表示を切り替える

押すたびに表示が切り替わります。

リモコン



## iPod/iPhoneを聞く

### 順不同で聞く/くり返し聞く

#### ■ 順不同で聞く (ランダム)

リモコン

ランダム



押すたびにiPod/iPhoneのランダムモードが切り替わります。

#### ■ くり返し聞く (リピート)

リモコン

リピート



押すたびにiPod/iPhoneのリピートモードが切り替わります。

### メニュー画面で操作する

#### 1 メニュー画面を表示する

リモコン



#### 2 項目を選んで、決定する

リモコン



決定



## CDを聞く

以下のディスクを再生できます。

- 市販のCD
- CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW
- MP3/WMAを記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW
- CD-EXTRAの音声部分  
再生できるファイル形式については43ページをご覧ください。

#### 1 音源をCDに切り替える

リモコン

CD

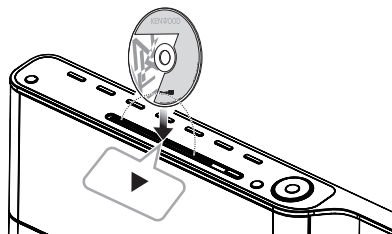


本体



CD

#### 2 ディスクを入れる 挿入口中央の▼マークを目安に、レーベル面を手前にして挿入します。



- ディスク認識中は **「READING」** と表示されます。表示が消えるまでお待ちください。
- ディスクを認識できないと **「Check Disc」** と表示されます。ディスクを確認してください。
- レーベル面に印刷可能なディスクは使用しないでください。レーベル面が貼り付いて取り出せなくなるなど、プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 12cm、8cmの円形ディスク以外は絶対に挿入しないでください。(22ページ)

### 3 再生する

リモコン



本体



- 再生可能なオーディオファイルがないときは、再生は開始されません。
- マルチセッションディスクやフォルダが多数含まれるディスクは、再生開始まで時間がかかることがあります。

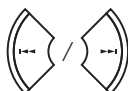
### 4 選曲する

#### ■ 前後の曲を選ぶ

リモコン



本体



本体



前曲を選ぶときは、ボタンを素早く2回押します。

#### ■ 前後のフォルダを選ぶ (オーディオファイルのみ)

リモコン



#### ■ 曲番号で選ぶ

リモコン



(入力例)

7曲目： 7 決定

12曲目： 1 2 決定

103曲目： 1 0 3 決定

# CDを聞く

## 再生中の操作

### ■ 再生を停止する

リモコン



本体



停止中は「**RESUME**」と表示されます。次回再生時には最後に再生していた曲の先頭から再生を開始します(リジューム機能)。

停止中にボタンをもう一度押すと「**RESUME**」が消灯し、次回再生時にはディスクの先頭から再生を開始します。

### ■ 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと再生を再開します。

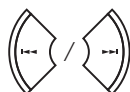
### ■ 早戻し / 早送りする

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

### ■ 曲の先頭に戻る (頭出し)

リモコン



本体



### ■ 表示を切り替える

押すたびに表示が切り替わります。

リモコン



(CDの場合)

T01 11:15 : 再生中の曲の経過時間

REMAIN : 再生中の曲の残り時間

TOTAL : CD全体の経過時間

TOTAL REMAIN : CD全体の残り時間

(オーディオファイルの場合)

T001 11:15 : 再生中の曲の経過時間

FOLDER.. FILE.. : フォルダ名/ファイル名

TAG information : タグ情報

F001 T003 : フォルダNo./ファイル No.

## 順不同で聞く / くり返し聞く

### ■ 順不同で聞く (ランダム)

リモコン

ランダム



ランダム再生中は「**RDM**」が点灯します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。

### ■ くり返し聞く (リピート)

リモコン

リピート



押すたびにリピートモードが切り替わります。

- 現在の曲を繰り返す (「**REP.**」点灯)
- 現在のアルバムを繰り返す (「**REP. ALB**」点灯)
- 全ての曲を繰り返す (「**REP.ALL**」点灯)
- リピート解除 (消灯)

## 好きな曲順で聞く (プログラム)

ディスク内の曲を好きな順番にプログラムして聞くことができます。

### 1 停止中にプログラムモードを選ぶ

リモコン



「PGM」が点灯します。

もう一度押すとプログラムを消去して通常再生に戻ります。

### 2 曲を選んで、プログラムに登録する

リモコン



- 曲を選ぶ操作については、19ページの手順4をご覧ください。
- 手順2をくり返すと、30曲まで登録できます。

### 3 プログラムを再生する


リモコン



本体



#### ■ 登録した曲を取り消す

再生を停止して、リモコンの  を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1曲ずつ取り消されます。

#### ■ 後からプログラムに曲を追加する

再生を停止して、手順2の操作で追加できます。

#### ■ プログラムモードを解除する (通常再生に戻す)

再生を停止して、 を押します。設定したプログラムは消去されます。

- 💡 ディスクを取り出す、または電源を切ると、プログラムは消去されます。
- 30曲目を登録すると「PGM FULL」と表示され、それ以上は登録できません。
- プログラムをリピートすることもできます。


# CDを聞く

## CDの取り扱い

### ■ 取り扱い上のお願ひ

- ・再生面に触れないように持ってください。
- ・ディスクアクセサリ（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）は使わないでください。
- ・紙やシール、ラベルを貼らないでください。
- ・鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。

### ■ CD ディスクのご注意

- ・のマークが入ったディスクをご使用ください。コピーコントロール付きCDなど、このマークが入っていないディスクは正しく再生できないことがあります。
- ・再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク、円形以外の形をしたディスク等は使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- ・8cm CDアダプターは使用できません。

### ■ CD の保管について

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

### ■ CD が汚れたときは

- ・ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。
- ・レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

## 本機で使用するディスクについて

CD-R/RWディスクは、記録した機器や記録状態、また使用しているメディアにより本機で再生できなかったり、フォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。

本機で再生するディスクを書き込む場合は、以下の点にご注意ください。

- ・書き込み時にはセッションクローズまたはファイナライズ処理をしてください。
- ・パケットライト方式、UDF (Universal Disc Format) 方式で記録しないでください。
- ・同一のディスクに、オーディオファイルとCD (CD-DAフォーマット) を書き込まないでください。
- ・ディスクに書き込む前に、ファイルがパソコンで正しく再生されることを確認してください。また、書き込み後のディスクが正しく再生されることを確認してください。
- ・オーディオファイルには正しい拡張子 (mp3、wma) を付けてください (拡張子が付いていないファイルは再生されません)。また、オーディオファイルでないものには上記の拡張子を付けしないでください。詳しくは「再生できるオーディオファイル」(43ページ) をご覧ください。

# SDカードを聞く

512MB～32GBの以下のカードを再生できます。

- SD/SDHCカード
- 市販の専用アダプターを取り付けたminiSDカード、microSD/SDHCカード



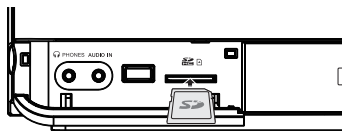
再生できるファイル形式については43ページをご覧ください。


## 1 音源をSDに切り替える



## 2 カードを入れる

カードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



 ラベル面を上、斜めにカットされた面を右

- カード認識中は **[READING]** と表示されます。表示が消えるまでお待ちください。
- カードを認識できないと **[NO SD]**、**[NOT SUPPORT]** と表示されます。カードを確認し、電源を切ってからカードを入れ直してください。

## 3 再生する



## 4 聞くファイルを選ぶ

### ■ 前後のファイルを選ぶ



前のファイルを選ぶときは、ボタンを素早く2回押します。

### ■ 前後のフォルダを選ぶ



### ■ ファイル番号で選ぶ



(入力例)

7曲目:  

12曲目:   


103曲目:    

- 再生可能なオーディオファイルがないときは、再生は開始されません。
- フォルダが多数含まれるカードは、再生開始まで時間がかかることがあります。

# SDカードを聞く

## ■ カードを取り出す

再生を停止し、電源を切ってからカードをカチッと音がするまで軽く押し込みます。その後、はみ出したカードをつまんで引き抜きます。

 ・再生中はSDカードを取り外さないでください。故障の原因となります。

## 再生中の操作

### ■ 再生を停止する

リモコン



本体



停止中は**[RESUME]**が表示されます。次回再生時には最後に再生していた曲の先頭から再生を開始します(リジューム機能)。

停止中にボタンをもう一度押すと

**[RESUME]**が消灯し、次回再生時にはカードの先頭から再生を開始します。

### ■ 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと再生を再開します。

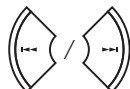
### ■ 早戻し / 早送りする

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

### ■ 曲の先頭に戻る (頭出し)

リモコン



本体



## ■ 表示を切り替える

押すたびに表示が切り替わります。

リモコン

表示



T001 11:15 : 再生中の曲の経過時間

FOLDER.. FILE.. : フォルダ名/ファイル名

TAG information : タグ情報

F001 T003 : フォルダNo./ファイル No.

## 順不同で聞く / くり返し聞く

### ■ 順不同に聞く (ランダム)

リモコン

ランダム



ランダム再生中は**[RDM]**が点灯します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。

### ■ くり返し聞く (リピート)

リモコン

リピート



押すたびにリピートモードが切り替わります。

- ・現在の曲を繰り返す (**[REP.]** 点灯)
- ・現在のアルバムを繰り返す (**[REP.ALB]** 点灯)
- ・全ての曲を繰り返す (**[REP.ALL]** 点灯)
- ・リピート解除 (消灯)



## 好きな曲順で聞く (プログラム)

カード内の曲を好きな順番にプログラムして聞くことができます。

### 1 停止中にプログラムモードを選ぶ

リモコン



「PGM」が点灯します。

もう一度押すとプログラムを消去して通常再生に戻ります。

### 2 曲を選んで、プログラムに登録する

リモコン



フォルダー  
P.CALL



- 曲を選ぶ操作については、23ページの手順4をご覧ください。
- 手順2を繰り返すと、30曲まで登録できます。

### 3 プログラムを再生する


リモコン



本体



#### ■ 登録した曲を取り消す

再生を停止して、リモコンの  を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1曲ずつ取り消されます。

#### ■ 後からプログラムに曲を追加する

再生を停止して、手順2の操作で追加できます。

#### ■ プログラムモードを解除する (通常再生に戻す)

再生を停止して、  を押します。設定したプログラムは消去されます。

- 💡 カードを取り出す、または電源を切ると、プログラムは消去されます。
- 30曲目を登録すると「PGM FULL」と表示され、それ以上は登録できません。
- プログラムをリピートすることもできます。

## SDカードを聞く

### 本機で使用するカードについて

- 本機にSDカードは付属していません。
- SDカードに付属の取扱説明書を必ずご覧ください。
- 本機で使用するSDカードは、FAT (FAT16) またはFAT32でフォーマットされている必要があります。フォーマット済みのSDカードを購入するか、パソコンなどでフォーマットしてください。本機にはフォーマット機能はありません。
- マルチメディアカード (MMC)、SDXC、SD-Audio、ワイヤレスLAN SDなどは使用できません。

## USB機器を聞く

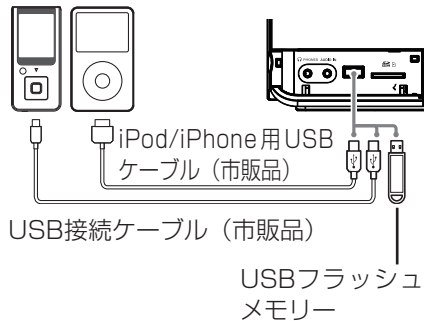
以下の機器を再生できます。

- USBフラッシュメモリー
- USBマストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー
- iPod/iPhone (コネクタが30pinタイプのiPod/iPhoneは、USBケーブルで接続してください。使用できるiPod/iPhoneについては、16ページをご覧ください。)
- 再生できるファイル形式については43ページをご覧ください。



- ソニー製ウォークマンには対応していません。外部機器としてAUDIO IN (外部入力端子) に接続してください。(⇒37ページ)

- 1 電源を切った状態で、USB機器を接続する  
デジタルオーディオプレーヤーやiPodなど



- 機器やケーブルは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 機器側にUSB接続モード選択画面が表示された場合は、「ストレージモード」を選んでください。

## 2 電源を入れる

リモコン



本体  
STANDBY



## 3 音源をUSBに切り替える

リモコン



本体



- 機器認識中は「READING」と表示されます。表示が消えるまでお待ちください。
- 機器を認識できないと「NO USB」、「NOT SUPPORT」と表示されます。機器を確認し、電源を切ってから機器を接続し直してください。

## 4 再生する

リモコン



本体



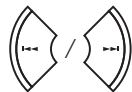
## 5 聞くファイルを選ぶ

### ■ 前後のファイルを選ぶ

リモコン



本体



前のファイルを選ぶときは、ボタンを素早く2回押します。

### ■ 前後のフォルダを選ぶ

リモコン



### ■ ファイル番号で選ぶ

リモコン



(入力例)

7曲目： 7

12曲目： 1 2

103曲目： 1 0 3

- 💡 再生可能なオーディオファイルがないときは、再生は開始されません。
- フォルダが多数含まれるUSB機器は、再生開始まで時間がかかることがあります。

### ■ 機器を取り外す

再生を停止し、電源を切ってから引き抜きます。

- 再生中はUSB機器を取り外さないでください。故障の原因となります。

# USB機器を聞く

## 再生中の操作

### ■ 再生を停止する

リモコン



本体



停止中は「RESUME」が表示されます。次回再生時には最後に再生していた曲の先頭から再生を開始します(リジューム機能)。

停止中にボタンをもう一度押すと「RESUME」が消灯し、次回再生時にはUSB機器の先頭から再生を開始します。

### ■ 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと再生を再開します。

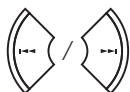
### ■ 早戻し / 早送りする

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

### ■ 曲の先頭に戻る (頭出し)

リモコン



本体



### ■ 表示を切り替える

押すたびに表示が切り替わります。

リモコン



表示

T001 11:15 : 再生中の曲の経過時間

FOLDER.. FILE.. : フォルダ名/ファイル名

TAG information : タグ情報

F001 T003 : フォルダNo./ファイル No.

## 順不同で聞く / くり返し聞く

### ■ 順不同に聞く (ランダム)

リモコン

ランダム



ランダム再生中は「RDM」が点灯します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。

### ■ くり返し聞く (リピート)

リモコン

リピート



押すたびにリピートモードが切り替わります。

- 現在の曲を繰り返す (「REP.」点灯)
- 現在のアルバムを繰り返す (「REP. ALB」点灯)
- 全ての曲を繰り返す (「REP.ALL」点灯)
- リピート解除 (消灯)

## 好きな曲順で聞く (プログラム)

USB機器内の曲を好きな順番にプログラムして聞くことができます。

### 1 停止中にプログラムモードを選ぶ

リモコン

P.MODE



「PGM」が点灯します。もう一度押すとプログラムを消去して通常再生に戻ります。

### 2 曲を選んで、プログラムに登録する

リモコン



フォルダー/  
P.CALL



- 曲を選ぶ操作については、27ページの手順5をご覧ください。
- 手順2を繰り返すと、30曲まで登録できます。

### 3 プログラムを再生する


リモコン



本体



#### ■ 登録した曲を取り消す

再生を停止して、リモコンの  を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1曲ずつ取り消されます。

#### ■ 後からプログラムに曲を追加する

再生を停止して、手順2の操作で追加できます。

#### ■ プログラムモードを解除する (通常再生に戻す)

再生を停止して、 を押します。設定したプログラムは消去されます。

- USB機器を取り出す、または電源を切ると、プログラムは消去されます。
- 30曲目を登録すると「PGM FULL」と表示され、それ以上は登録できません。
- プログラムをリピートすることもできます。

# USB機器を聞く

---

## 本機で使用するUSB機器について

- 本機にUSB機器は付属していません。
- 接続するUSB機器に付属の取扱説明書を必ずご覧ください。
- USBハブなどを介してUSB機器を接続することはできません。
- 対応機器以外は接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機で使用するUSB機器は、FAT（FAT16）またはFAT32でフォーマットされている必要があります。フォーマット済みのUSB機器を購入するか、パソコンなどでフォーマットしてください。本機にはフォーマット機能はありません。

## ■ 使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマストレージクラス対応であること。
  - 最大消費電流が「1A」以下であること。
- 上記以外のUSB機器ではファイルが正常に再生できないことがあります。  
また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によって正常に再生できないことがあります。

# ラジオを聞く

FMとAMの放送局を聞くことができます。

- ラジオを聞くには、AM、FMそれぞれの専用アンテナを接続する必要があります（9ページ）。

## ■ プリセットせずに聞く

### 1 受信するバンドを選ぶ

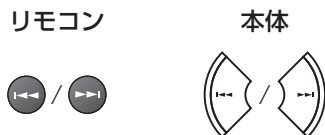


押すたびに受信バンド（AM/FM）が切り替わります。

**TUNER FM** : FMバンド

**TUNER AM** : AMバンド

### 2 選局する



押すたびに受信する周波数が変わります。押し続けると、受信状態のよい放送局が見つかるまで自動的に移動します。

- 選局中は音が出ません。
- ステレオ放送受信すると「STEREO」が点灯します。

## よく聞く放送局を登録する（プリセット）

### ■ 自動で登録する（オートプリセット）

受信状態のよい周波数を探し、自動で登録します。

### 1 受信するバンドを選ぶ



### 2 オートプリセットを開始する



（押し続ける）

FMは最大30局、AMは10局まで登録できます。

# ラジオを聞く

## ■ 手動で登録する (マニュアルプリセット)

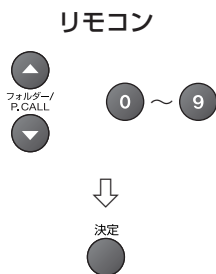
登録したい周波数を、登録したい番号に登録できます。

1 登録したい放送局を受信する

2 周波数を確定する



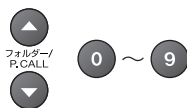
3 プリセット番号を選び、登録する



- 数字キーで指定する場合、例えばプリセット番号12なら①②の順に押します。
- すでに登録したプリセット番号を指定すると、古い登録内容は削除 (上書き) されます。

## ■ プリセットを呼び出す

リモコン



- 数字キーで指定する場合、例えばプリセット番号12なら①②の順に押します。
- プリセットした放送局でも、電波状況によって受信できない場合があります。

## ■ プリセットを削除する

不要な(聞かない)プリセットを削除します。

1 削除したいプリセットを受信する

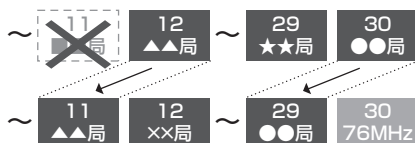
2 削除する

リモコン



「CLEAR?」と表示されている間に<sup>決定</sup>を押します。  
選択した放送局は削除されます。削除したプリセットチャンネル以降は前に詰められます。

例) プリセット11の放送局を消した場合



空いてしまうプリセット番号にはFMの場合は76MHz、AMの場合は531kHzが自動的に記憶されます。



## ラジオの受信状態が悪いときは

まず、以下のことをお試しください。

- アンテナの接続を確認する（9ページ）
- AMの場合は、AMループアンテナを窓際など見晴らしの良い場所に置き、左右に方向を変えてみる
- FMでFM室内アンテナを使用しているときは、アンテナを伸ばす方向と固定する場所を変えてみる。
- 本機の近くにテレビ、電子レンジ、蛍光灯などがあるときには、設置場所を変えてみる。

### ■ ステレオ / モノラルを切り替える

FMステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信にすると聞きやすくなる場合があります。

#### リモコン



押すたびに切り替わります。

**STEREO** : ステレオモードで受信



**MONO** : モノラルモードで受信

# BLUETOOTH（ブルートゥース）機器を聞く

以下の機器を再生できます。

- BLUETOOTH 2.1+EDR以上、A2DP/AVRCPのプロファイルに対応している機器（スマートフォン、タブレット端末等）

## 1 音源をBLUETOOTHに切り替える


リモコン

BLUETOOTH



本体



「CONNECTING」が点滅し、自動的に最後に接続したBLUETOOTH機器に接続します。「CONNECTED」と表示され、BTアイコン  が点灯します。

初めてBLUETOOTH機器と接続する場合や、新しいBLUETOOTH機器と接続する場合にはペアリング操作が必要です。

BTアイコン  が点灯している場合は、 または  を長押しして、いったん接続を解除します。

「DISCONNECT」と表示され、その後表示が消えます。

## 2 本機をペアリング待機状態にする

リモコン

ペアリング



本体



（長押し）

## 3 BLUETOOTH機器でペアリング操作をする

ペアリングについてはBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

BLUETOOTH機器で見つかった機器の中から「CLX-80」（本機）を選びます。

ペアリング中にPINコード（パスキー）の入力を求められた場合は、リモコンの数字キーで「0000」と入力してください。

## 4 BLUETOOTH機器を再生する

BLUETOOTH機器の再生音が本機から流れます。自動的に再生が始まることもあります。



- BLUETOOTH機器は9台まで登録できます。10台目のBLUETOOTH機器を登録すると、接続履歴が最も古い機器の登録が削除されます。
- BLUETOOTH機器によっては、本機に接続できないことがあります。

## 再生中の操作

### ■ 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押しすと再生を再開します。

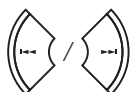
### ■ 早戻し / 早送りする

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

### ■ 曲の先頭に戻る (頭出し)

リモコン



本体




### ■ 曲のスキップ

リモコン



本体



 • BLUETOOTH機器によっては、これらの操作を受け付けられない場合があります。

## 接続を解除する

リモコン

BLUETOOTH



(長押し)

本体



BLUETOOTH

■PAIRING

(長押し)

押し続けると、接続が解除されます。

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- BLUETOOTH機器で接続を解除したとき、またはBLUETOOTH機能を「切」にしたとき。
- 本機またはBLUETOOTH機器の電源を切ったとき(BLUETOOTH待機状態を除く)。
- 他の音源に切り替えたととき。

## BLUETOOTH機器について

- BLUETOOTHで接続できる距離は、最大10mです。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhoneやスマートフォンをBLUETOOTH接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話するときには、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。

# BLUETOOTH機器を聞く

## ■ 電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

2.4FH1

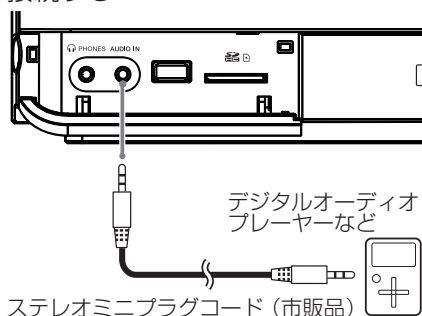
- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。
  - 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
  - FH : FH-SS変調方式を表します。
  - 1 : 電波と干渉距離は10mです。
  - : 全帯域を使用し、移動帯識別装置の帯域を回避可能です。
- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機の距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

# 外部機器を聞く

AUDIO IN端子に接続したデジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を再生します。

- ソニー製ウォークマンなどUSB接続に対応していないデジタルオーディオプレーヤーは、外部機器としてAUDIO IN（外部入力端子）に接続してください。
- お使いにならないときは、ケーブルを本体から抜いてください。

## 1 電源を切った状態で、外部機器を接続する



ステレオミニプラグコード（市販品）

突然大きな音がならないよう、接続する機器の音量は下げておきます。

## 2 電源を入れる

リモコン



本体  
STANDBY



## 3 音源をAUDIO INに切り替える

リモコン



本体



## 4 再生する機器の電源を入れ、再生する

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 再生中はデジタルオーディオプレーヤーを取り外さないでください。故障の原因となります。

## 5 本機または接続した機器で音量を調節する

### 音声入力レベルを調節する

AUDIO IN（外部入力端子）に接続した外部機器の音量が、ほかの音源に比べて違いすぎる場合は、入力レベルを調節してください。

リモコン



押すたびに設定が切り替わります。

**LEVEL 1**：通常の音声レベル

**LEVEL 2**：LEVEL 1よりも高いレベル

**LEVEL 3**：LEVEL 2よりも高いレベル

# CDの曲をSDカード/USB機器に録音する

市販の音楽CDをSDカードまたはUSB機器（USBフラッシュメモリなど）に録音できます。ファイルはMP3形式/192kbpsで保存されます。

- 音楽を聞きながらの等速録音です（録音中に音量を下げて、記録される音量は変わりません）。
- 本機では、ファイル（曲）の削除、分割、名称変更、タグ（TAG）情報の変更などはできません。パソコンなどをご利用ください。
- iPod/iPhoneには録音できません。
- CD以外の音源（ラジオ、外部機器など）は録音できません。
- 録音したファイルを聞くには、23ページ、26ページをご覧ください。

## 録音可能時間の目安

容量	録音時間
1GB	約11時間
2GB	約22時間
4GB	約45時間
8GB	約90時間
16GB	約180時間
32GB	約360時間

表の数値は目安です。実際の録音可能時間は録音する対象によって異なります。

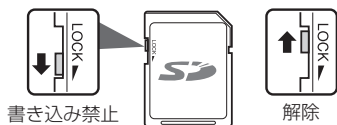
USB機器またはSDカード上に作成できる最大フォルダー数は255個、最大ファイル数は3000個です。

録音時間（容量）が残っている場合でも、256枚以上のCD、合計3000曲を超えて録音することはできません。

## ■ 全曲録音する

- 1 録音先のメディアを用意する  
SDカード、またはUSB機器を本機に取り付けます。

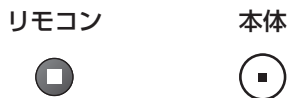
SDカードの場合は、あらかじめ書き込み禁止スイッチを解除の位置に移動しておきます。



- 2 音源をCDに切り替える

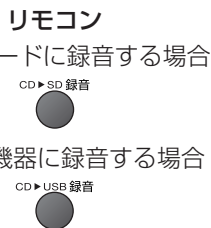


- 3 CDの再生を停止する



再生したままだと、現在再生中の1曲しか録音されません。

- 4 録音を開始する



録音が始まります。全曲録音が終了すると停止します。

## ■ 録音を途中でやめるには ...

リモコン



本体



## ■ 1曲だけ録音する

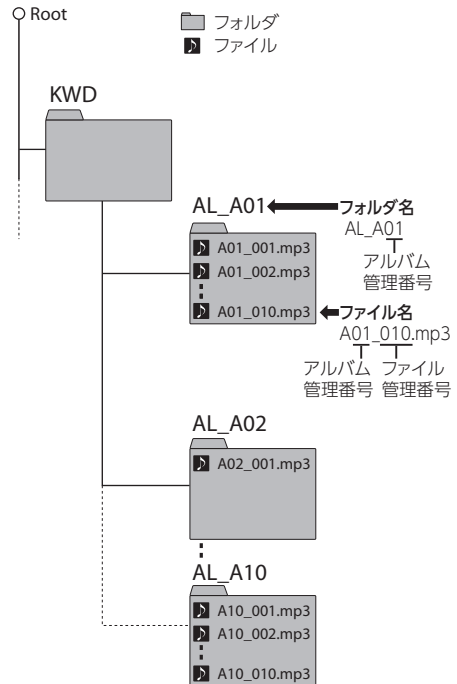
CDの中の特定の曲だけ録音したい場合は、録音したい曲の再生中に手順4を実行します。

## ■ 好きな曲を好きな順番で録音する

プログラムモード（21ページ）で曲を登録してから手順4を実行すると、曲の順番を並びかえたり、不要な曲を削除して録音することができます。

## 録音ファイルの保存場所

録音した曲は、ファイルとして録音先メディア（USB機器またはSDカード）に保存されます。また、各ファイルはCD1枚ごとにフォルダにまとめられます。ファイル、フォルダには自動的に管理番号が付けられ、KWDフォルダの下に図のように保存されます。



- ファイル管理番号はアルバムごとに001から002、003… 099と順番に付けられます。
- 管理番号を指定することはできません。

# CDの曲をSDカード/USB機器に録音する

---

## 録音に関する注意

### ■ 著作権について

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

### ■ SDカードを破棄/譲渡するときのご注意

パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



# タイマーを使う

スリープタイマーと通常の再生タイマーがあります。(タイマー録音はできません。)

## お休み前に聞く (SLEEP)

お休み前などに設定しておくと、設定時間経過後、自動的に電源を切ります。10分単位で最長90分まで設定できます。

### リモコン



押すたびに設定時間が切り替わります。「OFF」を選ぶとタイマーを解除します。

(例) 30分に設定

SLEEP 30

動作中は「SLEEP」が点灯します。

## ■ タイマーの残り時間を確認する

### リモコン



ボタンを押すと、残り時間を5秒間表示します。

(例) 残り18分

SLEEP 18

## 決まった時間に聞く (TIMER)

指定した時間にラジオやCD、SD、USB機器、iPod/iPhoneなどを聞くことができます。

- プログラムタイマーは1件のみ設定可能です。
- 利用前に時計を正確な時間に合わせる必要があります(12ページ)。
- ラジオ放送で利用するには、あらかじめ聞く放送局をプリセットする必要があります(31ページ)。

## 1 タイマー設定モードにする

### リモコン

設定モード



## 2 「TIMER」を選択する

### リモコン



決定



次ページに続く

## タイマーを使う

### 3 プログラムの各項目を順に設定する

リモコン



決定



**ON TIME**

: 開始時刻を選ぶ。設定中は「**TIMER ON**」が点滅します。

**OFF TIME**

: 終了時刻を選ぶ。設定中は「**TIMER OFF**」が点滅します。

**SOURCE**

: 音源を選ぶ。CD、USB、SD、iPod、FM、AMから選択します。ラジオ（FM、AM）のときは、プリセット番号を選択します。

**VOLUME**

: 再生する音量を選ぶ。

- ◀ / ▶ ボタンで前後の項目を選ぶことができます。

### 4 音量の立ち上がり方を設定する

リモコン



決定



**PLAY**

: VOLUMEで設定した音量で再生します。

**AI PLAY**

: 設定した音量値まで徐々に上げていきます。

設定すると「**COMPLETE**」と表示され自動的にタイマー設定モードを終了します。

タイマーが設定されると「**TIMER**」が点灯します。

### 5 電源を切る

リモコン



本体

STANDBY



STANDBYインジケータが橙色に点灯し「**TIMER**」が点灯します。

- 💡 タイマー動作中は「**TIMER**」が点滅します。
- 電源プラグを差し直したり停電があったときは、再度、時計を設定してください（12ページ）。

#### ■ タイマーを解除する

リモコン

オン/オフ



電源を入れてから操作します。「**TIMER**」が消灯します。

#### ■ 前回と同じ内容で再設定する

リモコン

オン/オフ



電源を入れてから操作します。「**TIMER**」が点滅します。

# 再生できるオーディオファイル

本機は以下のオーディオファイルが記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、SD、USB機器を再生できます。

## MP3ファイル

ファイルフォーマット：MPEG 1 Audio Layer 3

拡張子：.mp3

サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz

ビットレート：32 kbps ~ 320 kbps

## WMAファイル

ファイルフォーマット：

Windows Media™ Audio準拠

拡張子：.wma

サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz

ビットレート：32 kbps ~ 320 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

## ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1

ISO 9660 Level 2

Joliet

## SD/USB対応ファイルシステム

FAT16

FAT32

## ファイル数制限

最大フォルダ数：255

最大ファイル数：3000

## 表示できる最大文字数

フォルダ名：16文字

ファイル名：64文字（拡張子含む）

タグ表示（タイトル/アーティスト/アルバム）：

MP3 ID3タグ/WMAコンテンツプロパティ：64文字

(ID3 v1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3/2.4 対応)

- 表示できない文字があります。正しく表示されないか、または「\*」が表示されます。

## その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

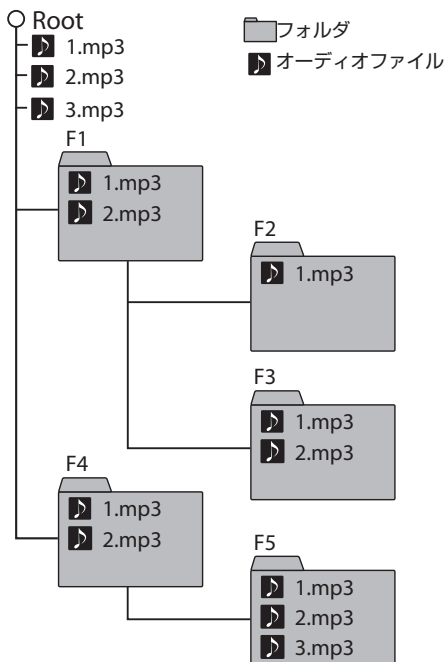
## その他の注意事項

- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3, wma）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma）を付けてください。

# ファイルの再生順について

オーディオファイルは、まず、Root（ルート）にあるものから再生されます。  
次の図は、本機がフォルダやオーディオファイルを選択する順番を表したものです。  
実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトにより異なることがあります。

## フォルダ構成例



## 再生順

- 1曲目 1.mp3
- 2曲目 2.mp3
- 3曲目 3.mp3
- 4曲目 F1\_1.mp3
- 5曲目 F1\_2.mp3
- 6曲目 F2\_1.mp3
- 7曲目 F3\_1.mp3
- 8曲目 F3\_2.mp3
- 9曲目 F4\_1.mp3
- 10曲目 F4\_2.mp3
- 11曲目 F5\_1.mp3
- 12曲目 F5\_2.mp3
- 13曲目 F5\_3.mp3

# 故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ  
<http://www2.jvckenwood.com/>  
や右記のQRコードから最新の製品Q&A 情  
報をご覧ください。解決できます。サー  
ビス窓口にご相談になる前に下記をチェッ  
クしてください。



(QRコードは(株)デンソー  
ウェアブの登録商標です)

- ・PC サイトです。
- ・サイトの内容は予告なく変  
更になることがあります。

## 全般

症 状	処 置	参照ページ
動作がおかしい（操作できない、表示がおかしいなど）	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンセントを抜き、10 秒くらい待ってから差し直す。</li><li>・それでも直らないときは、本機をリセットする</li></ul>	— 47

## アンプ部・スピーカー部

症 状	処 置	参照ページ
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・コードを正しく接続し直す。</li><li>・音量を上げる。</li><li>・消音を解除する。</li><li>・ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。</li></ul>	26、37 12 13 13
電源が自動的に切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>・節電機能（A.P.S.）が「入」の場合は、「切」にする。</li></ul>	15
ディスプレイに「--:--」が点滅して いる	<ul style="list-style-type: none"><li>・時計を設定する。</li></ul>	12
ヘッドホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。</li><li>・音量を上げる。</li><li>・消音を解除する。</li></ul>	13 12 13
時刻が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>・時計を設定する。</li></ul>	12
タイマーが作動しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・時計を設定する。</li><li>・プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。</li></ul>	12 41

情  
報

## リモコン部

症 状	処 置	参照ページ
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・新しい電池に交換する。</li><li>・操作範囲内で操作する。</li></ul>	4

## iPod/iPhone部

症 状	処 置	参照ページ
iPod/iPhone がリモコン / 本体で 操作できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・対応モデルかどうか確認する。</li></ul>	16

## USB部

症 状	処 置	参照ページ
USB フラッシュメモリーや USB マス ストレージクラス対応のデジタル オーディオプレーヤーや iPod を接 続しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・USB フラッシュメモリーを正しく差し込む。</li><li>・USB ケーブルを正しく接続する。</li><li>・USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレー ヤーの電源が入っているか確認する。</li></ul>	26

# 故障かな?と思ったら

## CD部

症状	処置	参照ページ
CDを入れても再生できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・レーベル面を手前にして、正しく入れる。</li><li>・ディスクの汚れをふきとる。</li><li>・ディスク表面に付いた露を蒸発させる。</li></ul>	18 22 —
CDが取り出せない	<ul style="list-style-type: none"><li>・【EJECT】と表示されるまで ▲ を押す。</li></ul>	19
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・【▶/⏪】を押す。</li><li>・ディスクの汚れをふきとる。</li></ul>	19 22
音とびがする	<ul style="list-style-type: none"><li>・オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。</li><li>・傷がついたディスクは再生できない。</li><li>・本機で再生できるオーディオファイルか確認する。</li></ul>	43
再生できないオーディオファイルがある	<ul style="list-style-type: none"><li>・オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。</li><li>・本機で再生できるオーディオファイルか確認する。</li></ul>	43
再生するまでに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"><li>・フォルダ数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。</li></ul>	—
タグ情報が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>・本機で表示できるタグ情報を確認する。</li></ul>	43

## チューナー部

症状	処置	参照ページ
放送局が受信できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンテナを接続する。</li><li>・AMの場合、AMループアンテナをなるべく窓際に置き、アンテナを受信状態のよい方向へ向ける。</li><li>・FM室内アンテナを使用している場合、受信状態の良い位置にピンと張って固定する。</li><li>・受信バンド（AM、FM）を合わせる。</li><li>・受信したい放送局の周波数に合わせる。</li></ul>	9～11 11 9 31 31
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>・外部アンテナを道路から離して設置する。</li><li>・本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。</li><li>・テレビから離す。</li></ul>	9～11 — —
プリセットした放送局が聞けない	<ul style="list-style-type: none"><li>・もう一度、放送局をオートプリセットする。</li><li>・受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。</li></ul>	31 32

## BLUETOOTH部

症状	処置	参照ページ
BLUETOOTH 機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・BLUETOOTH機能が「入」か確認する。</li><li>・お使いの機器がBLUETOOTHプロファイルのA2DPに対応しているか確認する。</li></ul>	34
本機からBLUETOOTH機器を操作できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・お使いの機器がBLUETOOTHプロファイルのAVRCPに対応しているか確認する。</li></ul>	—
音が途切れる。雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>・BLUETOOTHの距離限界を超えている場合は、本機に近づける。</li><li>・本機との間に電波に干渉する機器などがある場合は、場所を変える。</li></ul>	—

## 録音

症状	処置	参照ページ
録音できない	• 音楽 CD 以外の音源 (iPod、BLUETOOTH 機器等) は録音できない。	—
	• コピーコントロール付き CD など、CD 規格から外れているディスクは録音できない。	38
	• SD カード、USB メモリ以外の場所 (iPod 等) には録音できない。	—
1 曲しか録音できない	• 録音前に再生を停止する。	38

## 本機をリセットする

本機の動作がおかしい (操作できない、表示部の誤表示など) 場合には、次の手順で本機をリセットしてください。

リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

### 1 本機の電源を切る

リモコン



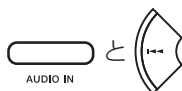
本体

STANDBY



### 2 本機をリセットする

本体



2つのボタンを同時に **【FACTORY RESET】** と表示されるまで押し続けます。

### 3 **【RESET FINISHED】** と表示されたら、電源プラグをコンセントから抜く

本機がリセットされました。

### 4 電源プラグをコンセントに差し込む

# 用語集

用語	意味
CD-DA	CDのこと。CD-DA ディスクは一般的に「CD」と呼ばれます。
MP3	独 Fraunhofer IIS が開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを聞かずに高い圧縮率を得ることができ、CD 並みの音質を保ったまま約 1/11 (128kbps) に圧縮することができます。
PCM	正式名「Pulse Code Modulation」の略称です。音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換する方式の一つ。CD(CD-DA) は PCM 方式を利用しており、サンプリング周波数は 44.1kHz です。
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB 1.1、2.0 に対応しています。
USB ハブ	複数の USB 機器を同時に接続するためのアダプター。
USB マスストレージクラス	USB 機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続した USB 機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。
VBR (可変ビットレート)	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。
タグ (TAG) 情報	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。
ビットレート	1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。

## メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意味 / 処置
NO DISC	ディスクが入っていない。→ ディスクを入れる。
NO iPod	iPod/iPhone が接続されていない。→ iPod/iPhone を接続する。
NO USB*	USB 機器が接続されていない。USB 機器が接続できない。
NO SD*	SD カードが挿入されていない。SD カードが検出できない。
NO DATA	再生できるファイルが無い。→ 再生できるオーディオファイルを確認する。
CHECK DISC	再生できるファイルが無い。→ 対応フォーマットを確認する。
NOT SUPPORT*	USB 機器が接続できない。または SD カードが検出できない。

\* NO USB/NO SD/NOT SUPPORT のメッセージが表示したときは、いったん電源を切って USB 機器を接続し直す、または SD カードを入れなおしてから電源を入れてください。



# 定格

## [アンプ部]

実用最大出力…………… 20 W + 20 W (JEITA 8 Ω)  
入力端子 (感度/インピーダンス)  
AUDIO IN …………… LEVEL1 : 1 V / 30 kΩ  
LEVEL2 : 500 mV / 30 kΩ  
LEVEL3 : 250 mV / 30 kΩ

## [チューナー部]

FMチューナー部  
受信周波数範囲…………… 76.0 MHz ~ 90.0 MHz  
アンテナインピーダンス…………… 75 Ω不平衡  
AMチューナー部  
受信周波数範囲…………… 531 kHz ~ 1,602 kHz

## [CDプレーヤー部]

読み取り方式  
…………… 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)  
D/Aコンバーター…………… 1 ビット  
オーバーサンプリング…………… 8 fs (352.8 kHz)

## [USB部]

対応USB機器…………… USBマストレージクラスデバイス  
インターフェイス…………… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換  
対応ファイルシステム…………… FAT 16/32  
出力…………… DC 5 V ≒ 1 A  
対応ファイル形式…………… MP3、WMA

## [SD部]

対応SDカード  
…………… SD/SDHC、miniSD、microSD/SDHCカード  
miniSD/microSDは専用アダプタが必要です。  
マルチメディアカードMMCは使用できません。  
対応ファイルシステム…………… FAT 16/32

## [iPod/iPhone部]

出力…………… DC 5 V ≒ 1 A

## [BLUETOOTH部]

規格…………… BLUETOOTH 3.0  
最大通信距離…………… 見通し距離約10 m  
(使用環境によって異なります)  
使用周波数帯域…………… 2.4 GHz帯  
対応プロファイル  
… A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)  
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

## [スピーカー部]

エンクロージャー…………… バスレフ方式  
スピーカー…………… 70 mm コーン型

## [電源部・その他]

入力…………… 100 V - 240 V~, 50/60 Hz, 1.5 A  
出力…………… DC 18 V ≒ 3.35 A  
定格消費電力…………… 30 W (動作時)  
1 W以下 (電源待機時)

最大外形寸法…………… 幅 465 mm  
高さ 188 mm  
奥行 105 mm  
質量 (重量)…………… 2.7 kg (正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

• "Made for iPod," and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.

• iPhone, iPod, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社JVCケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

## 1. 保証について

- **保証書**—この取扱説明書に記載されています。  
保証書は、必ず「**お買い上げ日**」・「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間**—お買い上げの日より1年間です。  
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

## 2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## 3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がSDカード、USBメモリなどの記録媒体などへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください
- 修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
  - ① 技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
  - ② 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  - ③ 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
  - ④ 送料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

## 6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

# 無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはお近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
4. ケンウッドサービス窓口については、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。
  - (1) 保証書のご提示のない場合。
  - (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
  - (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
  - (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
  - (5) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
  - (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷(例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等)
  - (8) 製造番号の変更及び、取り外した製品。
  - (9) 消耗部品(例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電機、イヤークリップ等)の交換。
  - (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

・修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/repair.html>

・商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、  
JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



**☎0120-2727-87** (フリーダイヤル)

(携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950、FAX 045-450-2308)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

# 保証書

持込修理用  
(日本国内専用)

品名	コンパクト ハイファイ コンポーネント システム	形名	CLX-80
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年
※お買い上げ日	年 月 日		日
※お客様	お名前 住所 電話番号 ( )		様
※販売店	店名 住所 電話番号 ( )		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店またはお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。
- 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは50ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

## KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12